

堂前 守人 陶器 個展

アートギャラリーのようでギャラリーではないー

“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」) によるKanjiru (Art) 展覧会のご案内となります。

堂前 守人 陶器 個展 「掌の中のみどり」

会 期： 2020年7月4日(土)～7月12日(日)

時 間： 12:00-19:00 (最終日は17:00閉廊)

休 廊： 7月8日(水)

在 廊： 在廊の予定はSNSやWEBサイトでご確認ください。

作 品： 約200点 陶器 (日常のテーブルウェア、花器、テーブル、陶板等のインテリア)

函館で工房、ギャラリー兼ストアを運営している陶芸家堂前守人による個展です。同氏は陶芸家でありながら、函館で展開しているはこだて工芸舎の主宰という経営者でもあります。自動車で移動できる国内ならば、旅しながら納入をされるスタイル。花を大切にし、日々の生活にこそ豊かな心をもって臨もうと作陶にあたる堂前守人の作品を、神戸でぜひご堪能ください。

アーティストのご紹介

堂前 守人 (Morito Domae)

1958年 兵庫県生まれ

1977年 函館ラサール高校卒業

1981年 大分県立芸術短期大学生活芸術科卒業

1982年 愛知県立窯業職業訓練校終了

1984年 オーストラリア・シドニーにて

アンドリュー・ハルフォードの工房で学ぶ

1985年 ニューージーランド・オークランドに

ジェフ・スコールズの工房で学ぶ

1986年 愛知県瀬戸市安立佐和子の工房で学ぶ

1988年 瀬戸市湯之根町にて独立

1991年 函館市に移転

2014年 はこだて工芸舎開設

みどころ

「自然は時には脅威になります。それでもそれ以上に自然は多くの恩恵を与えてくれます。草花の色や形の造形美もその小さな1つだと思ひ、器を作っています」と、堂前 守人氏。

草花のファンシーでラブリーなだけでないところの魅力に、引き寄せられます。

日々の生活必需にこそ、幸せに溢れ、楽しいものをというアーティストの想いは、現代の脅威の中でも共存し、生き抜いていくという力強さすら感じます。テーマである「掌の中のみどり」は、大いなる自然を自分の手の中の愛しみとし、楽しむことができる作品を予感させます。

風に揺れる草花、穏やかな日常の風景を、普段の器の中に。ぜひご期待ください。

別紙1
2020年6月



Kanjiru (Art) 展覧会

堂前 守人 陶器 個展

「 掌 の 中 の み ど り 」

2020年7月4日(土) ~ 7月12日(日) / 12:00~19:00 (最終日は17:00 閉廊)



堂前 守人 作